

# 「ラグビーワールドカップ 2023」関連イベント

## 1. 概要

2019年ワールドカップ ウェールズ代表キャンプのレガシー事業として実施。  
ワールドカップ2023の開催に際し、レガシー協定を締結しているウェールズ代表と日本代表を応援する機運醸成を図る。

## 2. 実施内容

### (1)ラグビーワールドカップフランス大会 100 日前イベント(令和5年 5 月)

2019年日本大会の際にウェールズ代表が北九州市でキャンプを実施した際の裏話や、元日本代表 山田 章仁選手らによるトークショーに約 300 人の観衆が耳を傾けた。  
(JR 小倉駅 JAM 広場)

### (2)ウェールズ代表チームへの応援動画送信(令和5年9月)

ワールドカップ直前に、北九州市民からウェールズ代表チームへ応援メッセージ動画を送信した。

### (3)小倉城ライトアップ(令和5年9月)

ウェールズ代表チームの公開練習日(令和元年9月16日)を記念し、小倉城をウェールズ代表チームカラーの赤色にライトアップした。

### (4)ウェールズ代表応援セレモニー(令和5年10月)

JR 小倉駅小倉城口のペDESTリアンデッキで、小倉祇園太鼓の銅像にウェールズのジャージを装飾した。また、市内の子どもたちがウェールズ国歌とカロンランを合唱した。



【100 日前イベント】



【応援動画】



【応援セレモニー】



【小倉城ライトアップ】

# 世界水泳選手権2023福岡大会事前キャンプ受入れ

## 1. 概要

グローバルマーケットアクアパーク桃園整備後、初となるナショナルチームのキャンプが、7月10日～20日にかけて実施された。

スウェーデン・ノルウェーなど9カ国、選手・スタッフ合わせて63名が参加し、キャンプ期間中には、公開練習や地元水泳教室の子どもたちとの交流を実施し、市民とトップスイマーとのふれあいの場を創出した。

## 2. キャンプ内容

### (1)参加国・人数等

代表チーム	実施期間	選手	スタッフ	計
ギリシャ(GRC)	7月10日～13日 16日～19日	10	6	16
チリ(CHL)	7月11日～20日	1	1	2
ベネズエラ(VEN)	7月12日～20日	2	1	3
リトアニア(LTU)		1	0	1
スウェーデン(SWE)	7月13日～20日	13	9	22
ノルウェー(NOR)		4	4	8
フィンランド(FIN)		1	0	1
アイスランド(ISL)		2	2	4
アルゼンチン(ARG)	7月15日～19日	4	2	6
計		38	25	63

### (2)使用施設等

- ① 練習会場 グローバルマーケットアクアパーク桃園(桃園市民プール)
- ② ジム 九州国際大学トレーニングルーム

### (3)交流事業

#### ①公開練習

- 日時 7月16日(日) ①9:30～10:30 ②17:30～18:30
- 場所 グローバルマーケットアクアパーク桃園 観覧席
- 参加国 スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・アイスランド、チリ、アルゼンチン
- 観客数 ① 約600人 ② 約300人





## ②水泳教室の子どもたちとの交流

日 時	7月16日(日) ①11:00~11:40 ②17:00~17:40 ※ ①のみ市長出席
場 所	グローバルマーケットアクアパーク桃園 会議室
参加国	①スウェーデン・ノルウェー・フィンランド・アイスランド、チリ ②アルゼンチン・ベネズエラ・リトアニア
参加人数(子ども)	① 32人 ② 31人
内 容	質疑応答・応援グッズ贈呈・記念撮影



## (4)応援グッズ贈呈

①マフラータオル・・・選手及びスタッフ全員に1枚、子どもたちより贈呈。

【参考:スウェーデンチーム】



②応援横断幕・ウェルカムボード・・・練習期間中は、グローバルマーケットアクアパーク桃園に掲出し、交流時に各国に子どもたちより贈呈。

【応援横断幕 参考:スウェーデンチーム】



【ウェルカムボード】



## なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合

開催日時	令和5年9月23日(土) 12時キックオフ
会場	ミクニワールドスタジアム北九州
主催	公益財団法人日本サッカー協会 ※本市は後援
対戦国	アルゼンチン女子代表
試合結果	日本女子代表 8-0 アルゼンチン女子代表
入場者数	7,265名

※本市での日本女子代表戦の開催は4年ぶり(2019年11月の南アフリカ女子代表戦/ミクニワールドスタジアム北九州)



なでしこジャパンの選手たち



子どもたちとハイタッチする杉田妃和選手  
(北九州市若松区出身)

### 【本市の取組み】

日本女子代表戦の開催に向け、小倉駅を中心とした都市装飾やライトアップ、各区でのPR 動画放映、SNS にて代表選手からのメッセージ公開、キックオフ前のトークショー開催等、機運醸成や情報発信を行った。

また、9月8日(金)には、サッカー日本女子代表(なでしこジャパン)監督の池田太氏が本市を来訪し、市長と面会した。



国際親善試合開催記念トークショー  
左から JFA 女子委員長 佐々木則夫氏、  
元なでしこジャパン 阪口夢穂氏



池田太監督による市長訪問



## マイナビ ツール・ド・九州2023

開催日時	令和5年10月6日(金)～9日(月)
会場	福岡県、熊本県、大分県
レースカテゴリー	UCI アジアツアー2.1(ステージレースクラス1)
主催	ツール・ド・九州2023実行委員会、(一社)ツール・ド・九州
参加チーム	18チーム(104名)
観客数 (速報値)	小倉城クリテリウム(約 16,000 人)
	福岡ステージ(約 33,300 人)
	熊本阿蘇ステージ(約 12,000 人)
	大分日田ステージ(約 27,000 人)

- 令和3年5月、九州地域戦略会議において、令和5年に九州で初めてとなるステージ転戦型の国際サイクルロードレースを開催されることが決定した。  
※その後、10月6日～9日(6日はエキシビジョン)での開催が決定。

### 【ステージ紹介】

日程	種別	ステージの特徴
10/6 FRI	小倉城 クリテリウム	小倉城周辺の小周回コースによるタイムトライアルレース。 市街地開催による観客動員とステージレース前の気運醸成を図る。
10/7 SAT	STAGE 1 福岡ステージ	複数の市町村を通り県を広く縦断する本格的な長距離ライン(直線型)レース。
10/8 SUN	STAGE 2 熊本ステージ	阿蘇五岳等、九州の大自然の魅力を発信出来るレース。
10/9 MON	STAGE 3 大分ステージ	本格的なサーキット場、日田オートポリスを核に展開するサーキットレース。

### 【本市での開催レース】

- 10月6日(金)、小倉城周辺で短距離の周回レース「小倉城クリテリウム」が開催された。



- 10月7日(土)、競輪発祥の地である北九州メディアドームをスタートし、世界遺産の街・大牟田市までを駆け抜ける長距離ロードレースを開催。



### 【本市の位置付け】

- 開催自治体として大会成功に向けて運営面での協力や機運醸成・PR 活動などを行った。

また、10月6日(金)の小倉城クリテリウム開催時に、本庁舎北側広場において、県と協同でステージイベントや飲食・市政 PR ブースなどを出展し、多くの来場者へにぎわいを創出した。

### 【本市の取り組み】

- 沿道住民の合意形成(コース沿道の自治会会議で大会概要の説明と協力依頼)
- 関係団体等への説明(北九州市商工会議所、小倉城、リバーウォーク北九州など)
- 大会の広報、機運醸成
- 警察協議への出席
- 北九州市関係の招待者への案内
- 大会を盛り上げるための企画 → 「北九州部会」の設置



### 【北九州部会の取り組み】

- ◇北九州市立大の学生が、SNSを活用した情報発信・大会PR
- ◇北九州商工会議所の会員向けメールでの情報発信
- ◇リバーウォーク北九州とのコラボ企画
- ◇小倉城の活用
- ◇プロ自転車競技チーム・VC福岡との連携による盛り上げ企画
- ◇会場周辺の盛り上げイベントの企画
- ◇魚町銀天街のバナー掲出 など



### 【気運醸成(主なPR活動)】

- 小倉駅JAM広場でのPR活動(フライヤー及びオリジナルグッズの配布)【7月25日】
- わっしょい百万夏まつりパレード【8月6日】
- 北九州メディアドームで開催されたバンクリーグでPR活動【8月13日】
- リバーウォーク北九州で50日前イベント【8月17日】
- イオンモール八幡東でのPRキャラバン【8月20日】
- 市内小・中・特別支援学校で講演会や交通安全教室【9月15日、21日】
- 魚町銀天街に懸垂幕・ロードサイン掲載



魚町銀天街



小倉駅 JAM 広場



わっしょい百万夏まつりパレード



リバーウォーク北九州50日前イベント

### 【大会結果】

- 10月6日小倉城クリテリウム及び10月7日福岡ステージは、地元福岡県出身の 児島直樹(こじま なおき)選手(チームブリヂストンサイクリング)が優勝。
- 全ステージレースの総合優勝は、アンドレイ・ゼイツ選手。  
(アスタナ・カザクスタン・チーム)

# パラ卓球(肢体不自由者卓球)拠点化構想について

## 1. 概要

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が進める、パラ卓球(肢体不自由者卓球)拠点化構想に関し、10月30日に実施された同協会幹部の市長表敬の場で、市長から、本市として正式に同事業へ連携・協力する旨、発表した。



承諾書を交わす宮崎義仁同協会ハイパフォーマンスディレクター(左)と市長



同協会役員、県・市卓球協会、市障がい者卓球協会関係者と市長

- パラ卓球(肢体不自由者卓球)の普及・振興を目的とする地方公共団体と連携した育成環境整備。

※一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が、独立行政法人日本スポーツ振興センター「課題育成型アスリートパスウェイ構築育成プログラム(地方公共団体と連携した育成環境の整備)」委託事業を受託して実施するもの。

- 今年度(2023年度)、北九州市を含む国内4ヵ所で設置の予定(後々全国展開を検討)。
- 行政は練習会場の確保、中・高校生との練習機会創出(障がい者への理解促進)、指導者育成、イベント実施などに協力。
- 当初(2年間)は日本肢体不自由者卓球協会が全ての費用(卓球台の購入や指導者謝金等)を負担、3年目以降は地元協会及び行政が連携し継続実施する方向。
- 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」を活動拠点とする。

## 2. 市内の障がい者卓球の現状

- 現在、北九州市障がい者卓球協会には、肢体不自由者(約20名)・知的・精神・聴覚・内部障害者、ボランティアを合わせて約45名が所属。
- 週に3日、北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」で活動中。

## 3. パラ卓球の普及・振興拠点化の効果

- パラ卓球競技者の人口増加
- パラアスリートのタレント発掘
- 次世代(未来)のパラリンピック選手の育成
- (2028世界卓球の本市開催を目指している本市にとって)卓球界の新たな取り組みへの協力が、今後の誘致活動の円滑化につながる。



# 元国際パラリンピック委員会理事の来北

## 1. 概要

令和5年11月15日、元国際パラリンピック委員会理事 リタ・ファン・ドリエル氏が来北、市民文化スポーツ局長や北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」を訪問し、オランダのパラスポーツ環境の紹介や、共生社会の推進、本市のパラスポーツの現状(取り組みや課題等)について、意見交換や視察を行った。

### 〔Rita van Driel(リタ・ファン・ドリエル)氏プロフィール〕

1961年2月25日生まれ、オランダ出身。  
障害者のスポーツ振興に長く携わり、2009年から2021年まで、国際パラリンピック委員会(IPC)の理事を務める。  
現在は、スポーツを通じた社会参加に焦点を当てたコンサルタントとして活躍。



## 2. 来訪時の様子

### (1)市訪問(市民文化スポーツ局長、スポーツ及びパラスポーツ担当者と意見交換)



市民文化スポーツ局長他スポーツ・パラスポーツ担当者と意見交換を行うリタ氏(左)



アレアス所長からプールの利用者やプログラムの説明を受けるリタ氏



アレアス所長に体育館の利用者や利用内容について質問するリタ氏



担当者から電動車椅子サッカーについて説明を受けるリタ氏



令和5年9月21日

報道機関各位

北九州市市民文化スポーツ局

## 「アジアラグビー男女オリンピック予選」開催会場の変更について

令和5年11月18日(土)～19日(日)に本市で開催が予定されていましたが「アジアラグビー男女オリンピック予選」につきまして、男女参加チーム数が当初の予定から大幅に増える見通しとなり、宿泊場所の確保等の観点から、開催会場が変更されることとなりましたのでお知らせします。

詳細につきましては、別添の「日本ラグビーフットボール協会リリース資料」をご参照ください。

### 記

#### (1)大会名称

日本語表記：アジアラグビー男女オリンピック予選

英語表記：Asia Rugby Men and Women Olympic Qualifier

#### (2)日程

第1日：2023年11月18日(土)

第2日：2023年11月19日(日)

#### (3)会場

変更前	ミクニワールドスタジアム北九州(北九州市)
変更後	ヨドコウ桜スタジアム(大阪市)

#### (4)主催等

主催：Asia Rugby(アジアラグビー)

主管：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

#### 【お問い合わせ先】

○試合に関すること

(公財)日本ラグビーフットボール協会 広報室

TEL:03-3401-3323 mail:media@rugby-japan.or.jp

○開催地に関すること

市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室

担当：山根(次長)、鎌田(係長)

TEL:093-582-2411 FAX:093-582-2677



2023年9月21日

**「アジアラグビー男女オリンピック予選」開催会場変更のお知らせ**

公益財団法人日本ラグビーフットボール協会(会長:土田雅人、東京都港区)は、11月18日(土)～19日(日)に日本で開催予定のパリオリンピックのアジア地区予選となる「アジアラグビー男女オリンピック予選」(英語名称:Asia Rugby Men and Women Olympic Qualifier)の試合会場を、ミクニワールドスタジアム北九州(福岡県北九州市)から、ヨドコウ桜スタジアム(大阪府大阪市)へ変更いたしましたことをご知らせいたします。

今回の会場変更は、本大会の男女参加チーム数が想定から大幅に増える見通しになったことを受け、宿泊場所の確保などの観点から、開催地の変更が必要であると判断し、主催するアジアラグビーの承認を以て決定いたしました。